

生徒主体

もうすぐ体育祭本番になります。心配された天候も、みんなの普段の行きからかここまで順調に練習が行えています。

妙典中学校の体育祭は2年前から「生徒主体」という合言葉で、先生が指示を出して動くのではなく、生徒一人ひとりが主体的に活動することで体育祭の運営を行っています。

現在、体育委員が朝も放課後も体育祭が自分たちの力で、運営できるように準備をしています。そして、体育委員の呼びかけに対し、妙典中生のみんなが協力して、学年練習、全体練習に取り組んでくれています。これも、今では妙典中の良さになっているように感じています。また、その陰で応援団、審判などの準備も行われています。

「生徒主体」の体育祭成功に向けて、競技はもちろん、競技の前後の速やかな行動、きれいな整列・行進、仲間への応援などみんなの力で素晴らしい体育祭をつくり上げていきましょう。



仲間のよいところを見つけよう

昨日の体育祭予行でも、多くの人の前向きな姿が印象的な体育祭練習になっていますが、「体育祭の目的」は何なのかをもう一度、考えてもらえたらと思います。

もちろん「勝つ」ことも大事ですが、体育祭を通して何を得るかも大切です。みんなで勝利を目指しつつ、仲間の良い面をたくさん見つけられる機会になればとも思います。

あなたは、体育祭を通して仲間の良い面を見つけることができますか？体育委員など頑張っている仲間に協力できていますか？運動が苦手な仲間をサポートすることはできていますか？クラスのために学級旗づくりをしてくれる仲間を大切にしていますか？クラスが前向きになるような声掛けや行動はとれていますか？

是非、体育祭が終わった時に多くのものが得られることを期待しています。

妙典中生の活躍

・今年は、地域の人から妙典中生の良い報告を受けることが多くあります。先日、小さい子が迷子になっていたのを1年生3名が助けてくれたと感謝の報告を受けました。困っている人を助けることができる心の優しい妙典中生がたくさんいることをうれしく思います。



体育祭中止の場合は、当日朝6時に一斉メール、ホームページにて連絡します。